

さうだ、 きさいち植物園に行こう!



ナンバンギセル

山野に生える一年草の寄生植物で、ススキなどの根に寄生します。名前の由来は、南蛮渡来のキセルに似ていることによります。



パラグアイオニバス

パラグアイ原産で、花は夜に咲きます。葉は直径1cm以上にもなり、小さい子供も乗れるぐらいになることもあります。



ステビア

天然甘味料の原料となるキク科の植物です。葉をかじると驚くほど甘く、その糖分は低カロリーのため、健康食品として使われています。



カゴノキ

日本産樹木では珍しく、夏の暑い時期に開花します。名前は、まだらに剥がれ落ちた樹皮が子鹿の模様に似ていることが由来です(鹿子の木)。

こぼれ話



植物園には多様な植物だけでなく、そこに暮らす生き物たちもたくさんいます。今月は、そんな生き物たちをピックアップして紹介します。

キツネ

早朝などに園内で見かける動物のひとつです。写真はメタセコイア近くの池で、フナを捕まえた様子です。

愛らしい姿は植物園でも人気者です。9月ごろから冬眠のためのドングリやシイの実を集めに木から下りてきます。



リス



ルリモンハナバチ

地域により絶滅危惧種に指定される珍しいハチです。鮮やかな青色の模様が特徴的で、幸せを呼ぶ青いハチとも呼ばれています。

質問コーナー

Q. サギソウの苗を買ったが、花が終わってどんな管理をすればいいですか?



A. 花が終わった後が重要な時期です。種ができない様に花ガラ部分を切り取りましょう。そして、10月初めまでは薄い液肥を2週間に1回程度与え、来年も花を咲かせるように大きな球根にしましょう。日ごろの水やりも忘れずに!
※サギソウは種からは発芽しにくいので、球根で増やします。

イベント情報

9月1日(土)、2日(日) 夜間特別開園「夜咲き熱帯スイレンの観察」

9月2日(日) 熱帯植物観察会

9月5日(水) 里山を考える研究会(※メール等にて要事前申込)

詳細は当園ホームページをご覧ください。

大阪市立大学理学部附属植物園
愛称: きさいち植物園

〒576-0004 私市2000
TEL 891・2059 FAX 891・2101
Email b-garden@sci.osaka-cu.ac.jp



ご利用案内 ★65歳以上の市民は、登録いただくことで入園料が無料になります。(植物園メイト)

■ 開園時間: 午前9時30分～午後4時30分(入園は午後4時まで)

■ 休園日: 毎週月曜日(休日の場合は開園)

■ 入園料: 大人350円(中学生以下は無料)
団体(30人以上) 280円

■ 駐車料: 普通車500円/マイクロ1,000円/バス2,000円

■ アクセス: 京阪電車交野線「私市駅」下車徒歩約6分
JR学研都市線「河内磐船駅」下車徒歩約20分

★詳細は、ホームページでもご覧いただけます。

Web: <http://www.sci.osaka-cu.ac.jp/biol/botan/>